

平成 30 年度 第 1 回軽米町総合教育会議 議事録

1 日時 平成 30 年 5 月 22 日 (火) 午後 2 時 30 分から

2 会場 軽米町役場 2 階第 1 会議室

3 出席者

- (構成員) 山本 賢一 町長  
菅波 俊美 教育長  
戸草内 勝夫 教育長職務代理者  
兼田 寿 教育委員  
関向 玲子 教育委員  
田端 守 教育委員
- (事務局) 堀米 豊樹 教育委員会事務局総括次長  
大清水 一敬 同 生涯学習担当次長  
工藤 薫 同 教育総務担当次長  
関向 真介 同 指導主事
- (関係者) 高橋 広明 軽米小学校校長  
新毛 元昭 同 副校長  
小田島 誠一 小軽米小学校校長  
石川 和広 同 副校長  
工藤 健三 晴山小学校校長  
瀧野澤 公美 同 副校長  
石橋 和彦 軽米中学校校長  
古里 康彦 同 副校長

4 あいさつ (町長)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 に、地方教育団体の長が教育に関する「大綱」を定めることと規定されている。本日は「大綱」についてご協議いただきたい。

また、教育委員会の主要事業及び町内小中学校の今年度の運営方針等の説明を受け、今年度の教育行政の方向性、課題等について協議をお願いする。

報告となるが、4 月に軽米町立図書館が、文部科学大臣表彰を受賞した。学校巡回読み聞かせなど、子どもの読書活動の推進が評価されたものである。

5 協議事項

(1) 軽米町教育大綱について

(2) 平成30年度軽米町立小中学校の学校運営方針について

(3) その他

## 6 協議内容

(1) 軽米町教育大綱について

事務局から、平成30年度から34年度を計画期間とする「軽米町教育振興基本計画」をもって、大綱とする案を説明。

案の内容について、教育総務・生涯学習に分けて説明。

〈町長〉 軽米町の教育の特徴を明確にして、特色ある教育を推進したい。

〈教育長〉 学校教育では、今後、グローバル化の伸展や学習指導要領の本格実施に伴い、特にICT機器の活用や情報活用能力の育成、英語教育に更に力を入れていく。学力向上に係って、学力の二極化の対応については、教職員の努力や学力向上支援員の活用により改善傾向にある。

〈事務局〉 生涯学習では、団体と地域のリーダー育成が課題となっている。社会教育関係団体は、団体数・会員数とも減少傾向にあるが、教育委員会で団体と共に事業を推進していくなど、具体的な支援により活力ある団体の育成に取り組みたい。

地域リーダーは、自治公民館単位での事業を実施するなどして活動の中から育成を図っていききたい。

〈町長〉 役場内でも、各課協力し一体となった取組をし、連携をとって推進することが大切である。

〈委員〉 児童・生徒の少子化に加え、社会性を育てる時間も少なくなっていると思われる。小学校と中学校・中学校と高校の交流の他に、小学校と小学校の交流を考えてはどうか。大変とは思いますが、軽米の将来のためになることと思う。

〈町長〉 小中一貫教育等、現実に様々の教育の形がある。

〈教育長〉 学力向上などで小・小連携も進めている。いずれどの小学校からも軽米中学校に進学するので、中学校入学前に何か一緒に学習する場は、大切なことと考える。

〈事務局〉 計画の内容について説明し、ご意見を伺ったが、「軽米町教育振興基本計画」をもって、大綱とすることかどうか。

軽米町教育大綱のタイトルを付するとともに、町と町教育委員会名を併記した表紙を教育基本計画書に加え、大綱とすることとし、山本町長が委員全員の同意を確認し決定。

(2) 平成 30 年度軽米町立小中学校の学校運営方針について

〔設定時間 各校 30 分〕

① 軽米小学校学校運営方針説明〔軽米小学校校長・副校長〕

主な質疑

〈委員〉 個別の指導計画で、「可能な限り保護者への説明」とあるが具体的にはどのような内容か。

→校長 どの保護者にも、理解していただけるように、説明を尽くしたいと考えている。

〈委員〉 どのくらいの生徒が I T 機器をもっているのか。

→校長 多くはない。高学年になるにつれて多くなる。それに係わる指導も全校的に行っている。

〈委員〉 I T 機器の使用については、保護者も巻き込んでの研修が必要と思う。

→校長 使用についてのアンケート調査等も全町的に行っており、また、家庭教育学級などで取り上げている。

〈町長〉 学習面での工夫は何か。

→校長 習熟度で上位のクラスもある。学級の実態や扱う学習内容に応じて、学力向上支援員の活用を工夫している。

② 小軽米小学校学校運営方針説明〔小軽米小学校校長・副校長〕

主な質疑

〈町長〉 効果が出ている段階で、継続していること、変えていることは何か。

→校長 取組のほとんどが良い成果を残しているので、引き続き活動を継続している。今後は、力のある学力向上支援員なので、習熟度別学習での指導など工夫したい。

〈町長〉 神楽の活動は、どのようにしているのか。

→校長 保存会の皆様を中心に、たくさんの方々が指導してくれている。学習発表会などでその成果を披露している。

〈委員〉 当該校は地域と結びついている活動が多い。神楽・アルミ缶収集・保護者の丸付けのボランティアなど、地域みんなで取り組んでいる。



更にできることを見つけて活動してほしい。

〈教育長〉 複式指導については、複数の教員で対応するなど、工夫されている。先生方で情報を共有して、複式の良さを生かしてほしい。

〈委員〉 今後の複式はどのようなになるのか。

→校長 今後継続の見通しである。

〈委員〉 「教科書を確かに読み取る学習」について説明してほしい。

→副校長 教科書に書かれていることを基にして、児童がそれについて話し合えるような言語活動を目指している。

### ③ 晴山小学校学校運営方針説明〔晴山小学校校長・副校長〕

#### 主な質疑

〈町長〉 学力の調査では、改善点も示されているが、今後の取組を知りたい。

→校長 校内で分析し、授業改善につながるよう取り組んでいる。学力向上支援員の配置はありがたい。今後、更に学力向上につながる活用を考えていきたい。

また、今年度は児童の実態を基に、予習に力を入れるという研究に切り替えて取り組んでいる。10月に学校公開研究会を予定している。

〈委員〉 家庭の協力についてはどうか。

→校長 全面的に協力して頂いている。学習面についても家庭での取組が大切であるので、年度初めに保護者の皆様に話をし、その後、担任からも話をしている。

### ④ 軽米中学校学校運営方針説明〔軽米中学校校長・副校長〕

#### 主な質疑

〈町長〉 町では、英語検定・漢検定の検定料補助を行っているが、生徒の取組状況はどうか。

→校長 生徒のポテンシャルが高くなっている。生徒の英語の授業の様子は楽しそうである。英語検定の結果は、今季卒業生の6割強が3級を取得している。

〈町長〉 数学検定はどうか。

→校長 数学検定もある。数学は加配の関係で、全学年TT（チームティ

ーチング) で正規教員が行っている。また、支援員の先生方の指導で底上げも図られている。

〈委員〉 生徒の行事・地区清掃など地域への積極的な参加は非常に素晴らしい。子どもが大人と触れ合うことで、大人の考えを知るのは、これからの成長にも良いことだと思う。また、民生委員と先生方との懇談会はとてもいい取組だ。家庭が厳しい状況の生徒もいるので、関係者みんなで協力して取り組んでいく必要がある。

○閉 会 (17時)